

# 令和7年産(6年播)麦生育情報 No. 1 (R6.12.25)

(情報作成) 滋賀県農業技術振興センター

(次回は1月下旬の予定)

滋賀県近江八幡市安土町大中 516 (TEL : 0748-46-4392)

## 1 気象経過と生育状況

### (1) 気象の経過【彦根気象台、平成26～令和5年の平均値との比較】

期間	要素	平均気温	日照時間	降水量
10月	下旬	かなり高い	かなり少ない	平年並
11月	上旬	やや高い	平年並	かなり多い
	中旬	かなり高い	平年並	少ない
	下旬	平年並	やや多い	やや多い
12月	上旬	平年並	平年並	やや少ない
	中旬	平年並	やや多い	かなり少ない

※平均気温 <±0.5℃:平年並、±0.5～1.0℃:やや高い(低い)、±1.0～2.0℃:高い(低い)、±2.0℃<:かなり高い(低い)  
 ※日照時間 <±5hr:平年並、±5～10hr:やや多い(少ない)、±10～15hr:多い(少ない)、±15hr<:かなり多い(少ない)  
 ※降水量 <±10mm:平年並、±10～20mm:やや多い(少ない)、±20～30mm:多い(少ない)、±30mm<:かなり多い(少ない)

### (2) 生育状況【農業技術振興センター麦類作況調査(12月16日現在)による。表1および後掲グラフ参照。】

- 「びわほなみ」は平年に比べ、莖数はやや多く、草丈はやや長く、葉数は0.3枚多い。
- 「ふくさやか」は平年に比べ、莖数はかなり多く、草丈はやや長く、葉数は0.3枚多い。
- 「ファイバースノウ」は平年に比べ、莖数はやや少なく、草丈は平年並、葉数は0.1枚少ない。

表1 令和7年産(6年播)麦類作況調査の結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種名	年次	苗立数 (本/m <sup>2</sup> )	12/16調査		
			莖数(本/m <sup>2</sup> )	草丈(cm)	葉数(枚)
びわほなみ	R7年産 (平年比)	162 (93)	586 (111)	14.6 (107)	4.2 (+0.3)
	平年	173	530	13.6	3.9
ふくさやか	R7年産 (平年比)	172 (94)	612 (145)	16.6 (109)	4.1 (+0.3)
	平年	183	423	15.2	3.8
ファイバースノウ	R7年産 (平年比)	146 (79)	320 (92)	11.7 (99)	3.2 (-0.1)
	平年	184	347	11.8	3.3

※播種日は、令和6年11月6日。

※「ふくさやか」・「ファイバースノウ」の平年は、平成27～令和6年産(平成26～令和5年播)の10年間の平均値。

※「びわほなみ」の平年は、平成28,30～令和6年産(平成27,29～令和5年播)の8年間の平均値。

※播種様式は条播(条間25cm)、設定播種量は8kg/10a。

## 12月16日現在の小麦の生育状況(農技センター作況調査)



「びわほなみ」



「ふくさやか」



「ファイバースノウ」

## 2 県内の状況

○10月末～11月始めや11月末にまとまった降雨があったものの、10月中旬～11月はおおむね少雨傾向で推移し、ほ場準備や播種作業は順調に進んだ。

○気温は、11月上旬～中旬が平年より高く、11月下旬以降は平年並で推移しており、降水量は12月上旬～中旬も少なく、生育は順調とみられる。

## 3 今後の管理

### (1) 追肥

#### ①分施肥体系(基肥-追肥-穂肥)の場合

○基肥を標準量施用していれば、追肥は1月に施用するほうが増収効果は高い。特に、茎数が多い場合(300本/m<sup>2</sup>以上)には、追肥を早めてしまうと窒素分が穂肥施用前に切れる恐れがあるため、追肥施用を1月中旬～下旬に遅らせる。

○12月中旬の茎数が300本/m<sup>2</sup>より少ない場合、追肥は12月下旬に施用する。

○積雪が見込まれるところでは、積雪の前に施用する。

#### ②全量基肥-発肥料の場合

○基本的に追肥は必要ない。

○しかし、早播きなどで過繁茂になっているほ場は、肥料切れしないように2月上旬～中旬の葉色を見て、追肥を判断する。

## (2) 麦踏み

- 条の間隔が分からないほど過繁茂になり、草丈がかなり伸びているほ場では12月～2月上旬までに麦踏みを行い、稈の強化、倒伏防止を図る。
- 作業はほ場の乾燥時を見計らって、鎮圧ローラに付け替えた作業機などを使って行う。
- 接地圧が高すぎたり、土壌水分が高い時、茎立ち後の踏圧は、逆に生育を抑制し黒節病の発生や減収につながる恐れがあるので注意する。

## (3) 排水対策

- 今後、降雨や積雪による湿害が心配され、急激な茎数の減少に伴い穂数不足に至ることも想定されるため、徹底した排水対策を講じる。
- 特に、施肥前は、溝に水がたまっている場合は溝さらえを行い、排水を促す。

### 【参考サイト】

農業技術振興センター

<http://www.pref.shiga.lg.jp/nougicenter/>

病害虫防除所

<http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/>

彦根地方气象台

<http://www.jma-net.go.jp/hikone/>

早期天候情報

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/souten/>



農業技術振興センター



病害虫防除所



彦根地方气象台



早期天候情報

## ～農業情報の配信について～



- 滋賀県では、「防災・防犯等の情報をはじめとする滋賀の安全・安心のための情報やイベントのご案内など」を、ご希望の方へ情報配信しています。
- 台風等の気象災害や病害虫の発生が懸念される際に農業技術情報や農業に関するイベントのご案内など農業者向けの情報も配信しています。農業に関するタイムリーな情報収集手段の一つとして、是非ご利用ください。
- 詳しいサービスの説明、ご利用上の注意及び利用規約は下記の滋賀県ホームページをご覧ください。

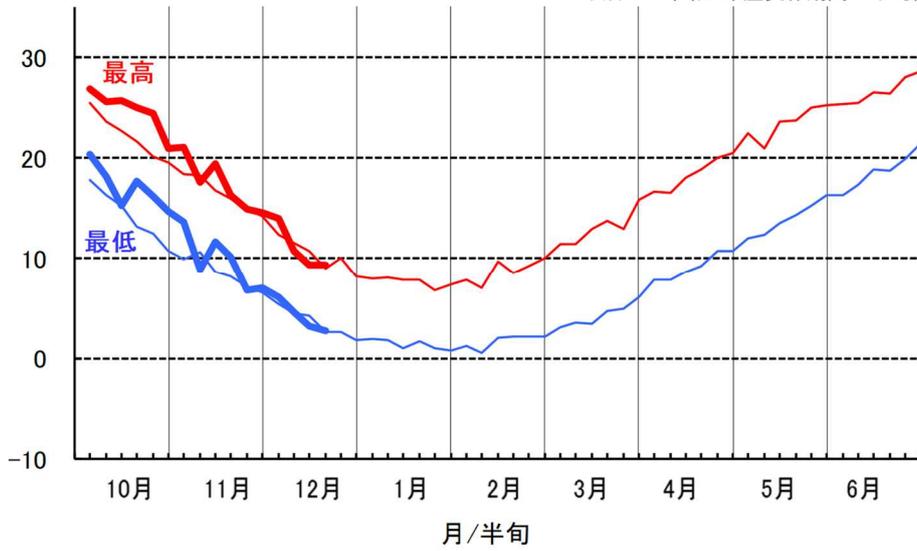
滋賀県ホームページ「しらしが（しらせろ滋賀情報サービス）ご案内」

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kurashi/ict/306374.html>



令和7年産(令和6年播) 麦作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)

(°C) 【気温の推移(最高気温、最低気温)】 棒線: 本年(令和7年産)  
折線: 平成27~令和6年産麦作期間の平均値



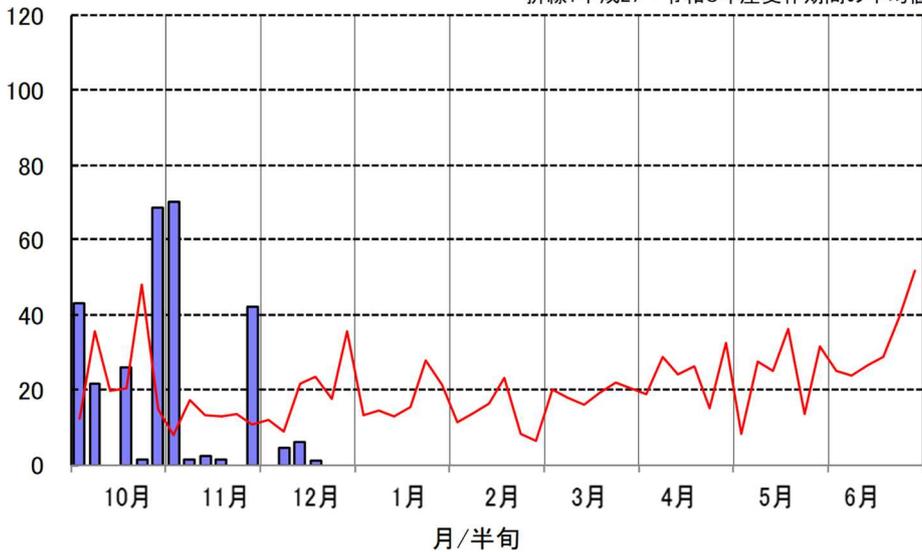
(hr) 【日照時間の推移】

棒線: 本年(令和7年産)  
折線: 平成27~令和6年産麦作期間の平均値



(mm) 【降水量の推移】

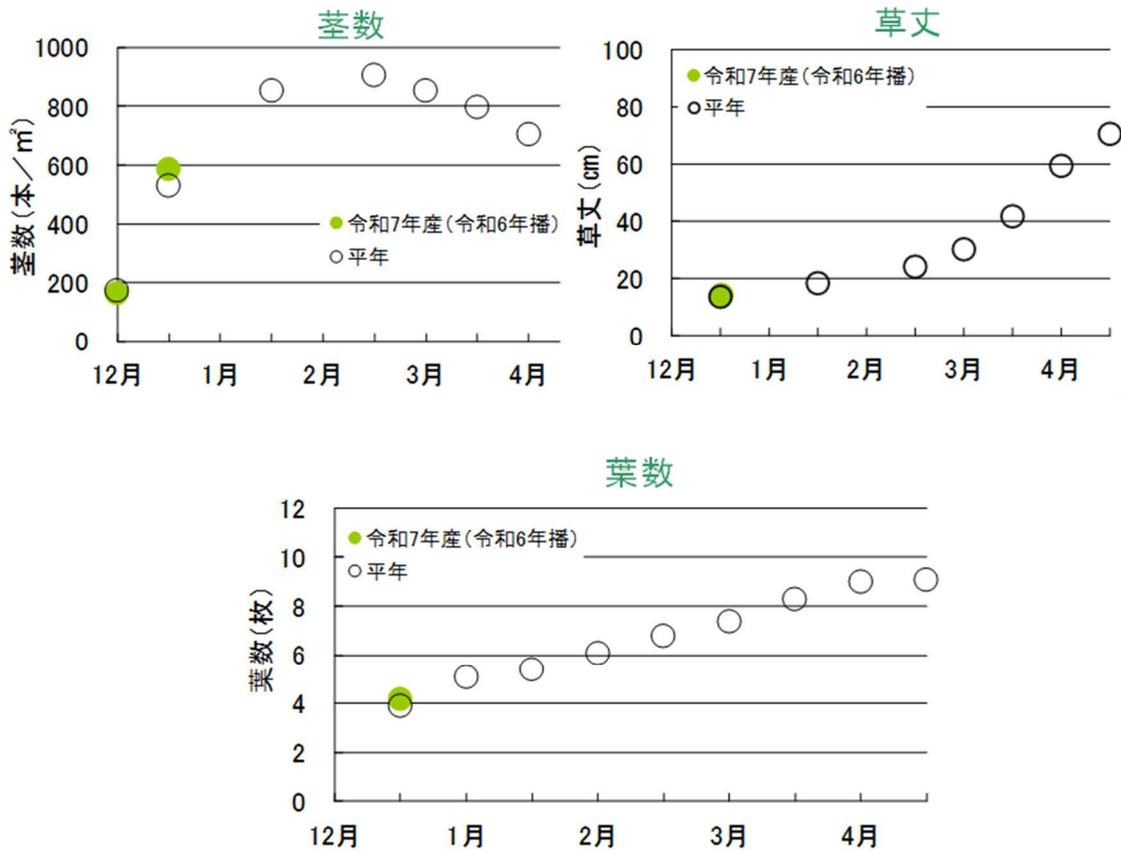
棒線: 本年(令和7年産)  
折線: 平成27~令和6年産麦作期間の平均値



# 令和7年産生育調査結果(1)

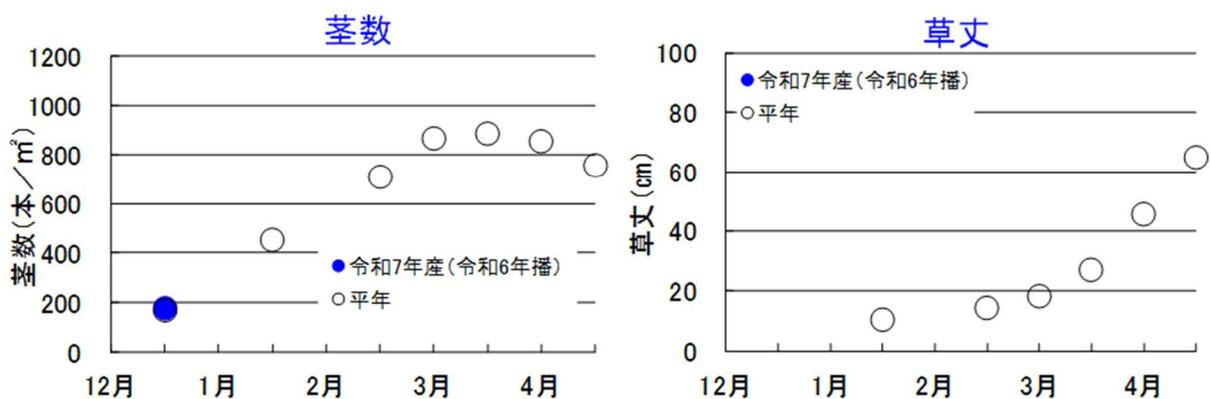
## 「びわほなみ」

令和6年11月6日播



(参考)

令和6年11月20日播

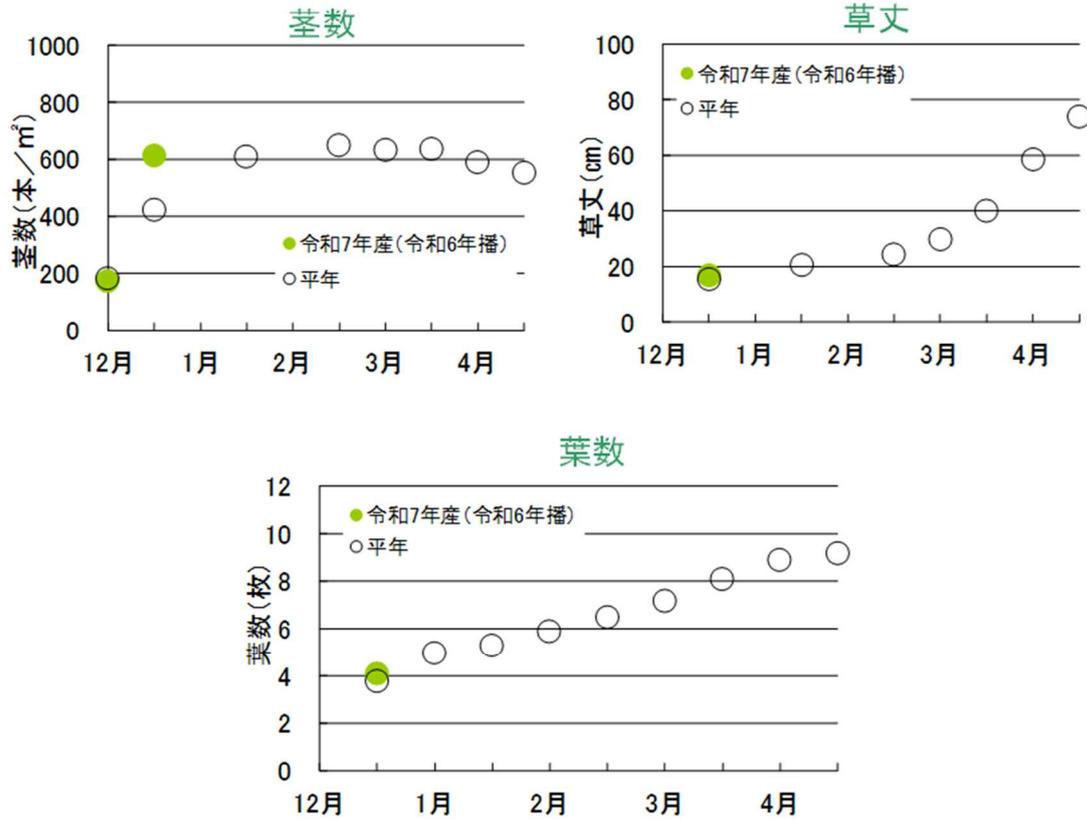


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28,30～令和6年産(平成27,29～令和5年播)の8年間の平均値。

## 令和7年産生育調査結果(2)

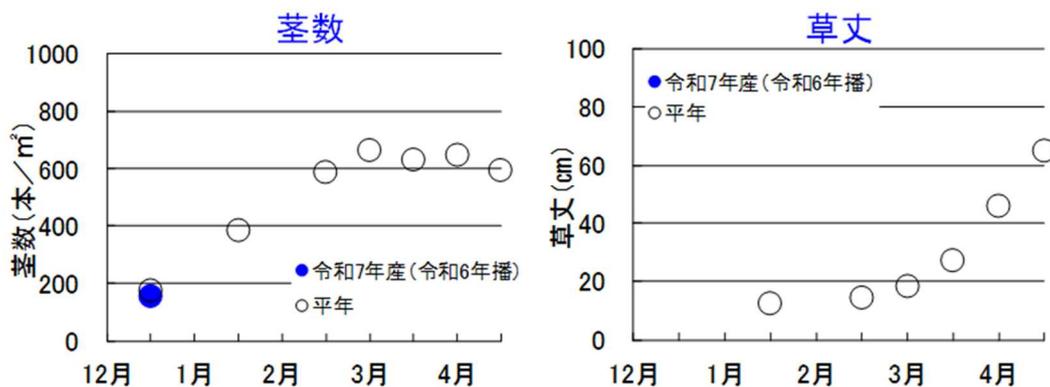
### 「ふくさやか」

#### 令和6年11月6日播



#### (参考)

#### 令和6年11月20日播

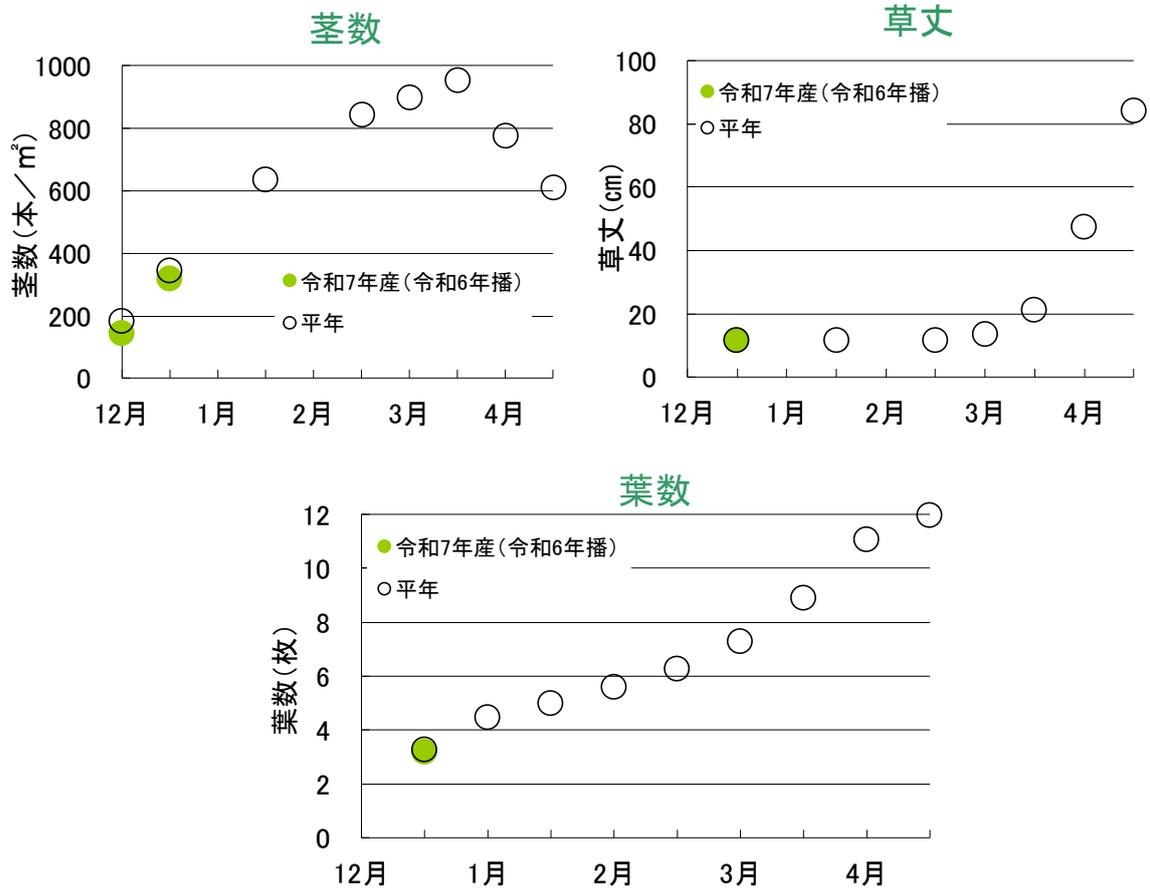


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成27～令和6年産(平成26～令和5年播)の10年間の平均値。

# 令和7年産生育調査結果(3)

## 「ファイバースノウ」

令和6年11月6日播



※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成27～令和6年産(平成26～令和5年播)の10年間の平均値。

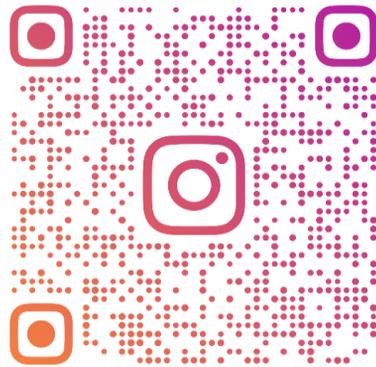


滋賀県農業技術振興センターの  
公式アカウントです  
各研究部門・農業大学校・  
農業革新支援部から  
旬の情報やお知らせを  
お届けします  
フォローをお願いします！  
(写真は今後の配信内容イメージです)



nougi\_shiga

検索



NOUGI\_SHIGA



滋賀県農業技術振興センター